

【施設状況】

グループ名称	信州新町農産物加工施設								
指定管理者名	味噌製造加工グループ					法人番号			
所管課	主	160500	農業政策課	副					
構成施設	1917	信州新町農産物加工施設							
施設分類	03	施設貸出2型		施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	02	利用料金制
施設概要	面積56.54㎡／木造／平屋建								
施設設置目的	農水産物の加工、特産品の開発により農林業の振興と食生活の向上を図る。								
基本方針等	指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを使用者に提供するとともに、地域の農業振興施設として地元産農産物加工の推進を目指す。								
主な実施事業	農産物の加工								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	味噌製造加工グループ			指定回数	3 回	
指定期間	平成30年4月1日	～	令和5年3月31日	5年	管理運営開始日	平成20年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)					

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	H27	H28	H29	H30	対前年比	評価
	施設利用日数	日	124	100	96	101	105%	
	施設利用団体（延べ）	組	124	100	96	101	105%	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
(特記事項)								
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案		追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> 加工施設の使用の許可に関する業務 加工施設の施設及び設備の維持管理に関する業務 使用料の収受に関する業務 						
	自主事業	<ul style="list-style-type: none"> 小学生との大豆。味噌づくりの体験、収穫祭を行う 西山大豆イベント、地域のイベントに参加 		<追加事業> ・味噌加工グループで味噌・醤油豆の加工				
サービス維持・向上の取組み（広報等）		<ul style="list-style-type: none"> イベントなどで施設使用の情報発信をする。 地産の良さ、おいしさと安全な物作りの発信をしていく。 						

3

3 利用者評価

利用者評価	区分	内容		評価
	利用者評価	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	
(2) 調査、会議等の内容			使用者の要望を聞き、安全安心を心がける。 (作業中の安全に十分気を付ける) 申し込みの際に細かな聞き取りをする。	
(3) 調査、会議等の結果			特に問題なく利用できた。	
利用者からの評価・要望・苦情等		(1) 良好とする評価	特に問題なく利用できた。	
		(2) 苦情・改善等の要望事項	なし。	
		<<対応措置>>	苦情等無いがその時は、全員で内容を話し合い解決策をとる。	

3

事業収支 (単位：円)	指定管理者収支（平成30年度）				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		平成30年度決算		平成29年度決算（前年度）		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金	464,000	利用料金	511,280	歳入	使用料		使用料	
	指定管理料		指定管理料			雑（納付金）		雑（納付金）	
	委託料		委託料		行政財産 目的外使用料		行政財産 目的外使用料		
	販売収入等		販売収入等		貸付料		貸付料		
	その他収入	8	その他収入	7	その他		その他		
	計	464,008	計	511,287	計	0	計	0	
支出	人件費	70,000	人件費	80,800	歳出	指定管理料		指定管理料	
	設備管理費		設備管理費	19,440		委託料		委託料	
	備品購入費		備品購入費			需用費		需用費	
	修繕費		修繕費	100,000		役務費		役務費	
	光熱水費	385,000	光熱水費	386,270		使用料・賃借料		使用料・賃借料	
	事業費		事業費			修繕費		修繕費	
	事務経費		事務経費			工事請負費		工事請負費	
	本社経費		本社経費			備品購入費		備品購入費	
	その他	9,008	その他	23,328		その他		その他	
	計	464,008	計	609,838		計	0	計	0
自主事業	収入		収入	10,000					
	支出		支出	12,500					
	自主事業損益	0	自主事業損益	-2,500					
損益		0		-101,051	差引			0	
人件費比率【人件費（賃金等）／平成30年度指定管理者事業支出】（支出に占める人件費の割合）								13.2%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか 配置実績 (うち市内雇用職員数) 総括責任者1名、施設危機管理責任者5名、食品衛生管理者1名	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 備品はI種、II種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか		

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		<input checked="" type="checkbox"/>
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	評価	
地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		
協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	
<ul style="list-style-type: none"> ・地元の農家から材料を購入する（米、豆） ・遊休地で西山大豆をグループと小学生で耕作する。 ・電気、水道など地元業者をお願いしている。 		

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価	
指定管理者の健全性	3	6	合計得点	
施設の有効活用	3	12		
利用者評価	3	6		
事業収支	3	6		
管理運営全般	3	12		
危機管理体制	3	12		
地域連携	4	8		
62				

評価理由	収支状況は昨年より減少しているが、利用件数が29年度に比べ増加した。また、地元産材料を使用したり、小学校との共同で大豆を栽培するほか、全ての支出を利用者からの利用料金や指定管理者による味噌加工事業の収入等で賄っており、経営者の努力は評価できる。
------	--

取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等 (改善されていない場合)
	利用者の増加	利用者はH29年度に比べ、増加している。	

次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	<取組> 小学生との大豆と味噌づくりを行う。
---------------------	---------------------------

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

イベントなどで施設使用の情報発信をした。
地産の良さ、おいしさと安全な物作りの発信をした。

② 業務の効率化に対する取組み

備品の点検を行い、作業者の安全と、効率化を改善した。

③ その他

苦情もなく良くなりました。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

利用者をどう増やすか考えていく。

(3) 総合評価

評価基準（計画＝事業計画）

【A】計画や目標を大きく上回る

【B】計画や目標を上回る

【C】計画や目標どおり

【D】計画や目標を下回る

【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

C

① 評価理由

昨年度課題として挙げていた床の剥げについては30年度中に改修を行い、衛生面において改善したため。
収支状況については昨年を下回ったが、年間利用件数については昨年を上回ったため。

② 次年度以降の取組み

小学生との大豆と味噌づくりを行う。